

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 7 月 27 日 (2006.7.27)

【公開番号】特開 2003-241750 (P2003-241750A)
 【公開日】平成 15 年 8 月 29 日 (2003.8.29)
 【出願番号】特願 2002-45829 (P2002-45829)
 【国際特許分類】

G 1 0 H 1/00 (2006.01)

G 1 1 B 20/10 (2006.01)

【F I】

G 1 0 H 1/00 1 0 2 Z

G 1 0 H 1/00 Z

G 1 1 B 20/10 3 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 12 日 (2006.6.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 録音の設定開始を指示する設定開始指示手段と、
 前記録音の設定開始の指示前における録音の設定を保持する保持設定記憶手段と、
 録音の設定を入力する入力手段と、
 前記入力手段によって入力される録音の設定を記憶する最新設定記憶手段と、
 前記録音の設定開始の指示を検出した場合に、前記最新設定記憶手段に初期内容を書き込んで録音の設定を初期化する初期化手段と、
 前記初期内容に対して変更されたか否かを検出する検出手段と、
 前記検出手段が初期内容に対して変更があったと検出した場合には、前記最新設定記憶手段に記憶されている録音の設定に従い、前記検出手段が初期内容に対して変更がなかったと検出した場合には、前記保持設定記憶手段に記憶されている録音の設定に従い、録音を設定する設定手段と
 を有する録音設定装置。

【請求項 2】 さらに、録音の開始を指示する指示手段と、
 前記指示手段による録音開始指示があった場合には、該録音開始指示があった時点の前記最新設定記憶手段に記憶されている録音の設定を前記保持設定記憶手段に記憶するように制御する記憶制御手段とを有する請求項 1 記載の録音設定装置。

【請求項 3】 録音の設定開始を指示する設定開始指示手順と、
 前記録音の設定開始の指示前における録音の設定を保持する保持設定記憶手順と、
 録音の設定を入力する入力手順と、
 前記入力手順において入力される録音の設定を最新設定記憶手段に記憶する最新設定記憶手順と、
 前記録音の設定開始の指示を検出した場合に、前記最新設定記憶手段に初期内容を書き込んで録音の設定を初期化する初期化手順と、
 前記初期内容に対して変更されたか否かを検出する検出手順と、
 前記検出手順で初期内容に対して変更があったと検出した場合には、前記最新設定記憶手段に記憶されている録音の設定に従い、前記検出手順で初期内容に対して変更がなかったと検出した場合には、前記保持設定記憶手段に記憶されている録音の設定に従い、録音

を設定する設定手順と
をコンピュータに実行させるプログラム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

【課題を解決するための手段】本発明の一観点によれば、録音設定装置は、録音の設定開始を指示する設定開始指示手段と、前記録音の設定開始の指示前における録音の設定を保持する保持設定記憶手段と、録音の設定を入力する入力手段と、前記入力手段によって入力される録音の設定を記憶する最新設定記憶手段と、前記録音の設定開始の指示を検出した場合に、前記最新設定記憶手段に初期内容を書き込んで録音の設定を初期化する初期化手段と、前記初期内容に対して変更されたか否かを検出する検出手段と、前記検出手段が初期内容に対して変更があったと検出した場合には、前記最新設定記憶手段に記憶されている録音の設定に従い、前記検出手段が初期内容に対して変更がなかったと検出した場合には、前記保持設定記憶手段に記憶されている録音の設定に従い、録音を設定する設定手段とを有する。